

## 安芸津みちづくり協議会だより

### ■協議会設立

本協議会は、地域のさまざまな立場の方に意見等を伺いながら、安芸津バイパスにおける道路構造の見直し計画について検討を行う事を目的として設立されました。

### ■協議会委員(敬称省略)

地域で様々な立場でご活動されている方々に協議会の委員に就任して頂きました。

またその中で、中平様が会長に選出され就任して頂きました。

[会長]	中平 好昭	安芸津町商工会 会長		
[委員]	乃美 完次	安芸津町観光協会 会長	南 武則	三津地区 中ノ村 4 区長
	一田 孝文	木谷地区 防地 1 区長	藤川 辰吾	三津地区 立花区長
	(新:岡崎 明彦)			
	中森 繁	木谷地区 防地 2 区長	寺内 保輝	三津地区 金山区長
	林 和宣	木谷地区 神谷 1 区長	郷呂 信治	風早地区 東 1-1 区長
	平家 義輝	木谷地区 神谷 2 区長	垣内 勝昭	風早地区 東 1-2 区長
	川上 秀徳	木谷地区 三畝上区長	盛谷 雅樹	風早地区 東 2-2 区長
	古比谷 雄二	木谷地区 三畝下区長	市川 幹男	風早地区 東 4-1 区長
	出来舎 義徳	木谷地区 上条 1 区長	横田 達務	風早地区 南 1 区長
	三木 喜久男	三津地区 中ノ村 3 区長	日浦 道德	安芸津地区地域審議会 会長
	(新:藤川 幸男)			
	天神山 博	安芸津町基幹道路等基盤整備促進同盟会 会長		
	垣内 幸雄	安芸津町基幹道路等基盤整備促進同盟会 副会長[風早地区]		
	竹本 文紀	安芸津町基幹道路等基盤整備促進同盟会 副会長[木谷地区]		
	古田 征子	安芸津町女性会 会長		
	(新:大岡 美恵子)			
	中村 昌典	東広島市 PTA 連合会 副会長		
	(新:國本 博之)			
[オブザーバー]	田向 次信	広島県 西部建設事務所 東広島支所 事業調整員		

事務局 東広島市 都市計画課(開催事務局)  
国土交通省 広島国道事務所(議案提案事務局)

### ■協議会の開催

『第 1 回 安芸津みちづくり協議会』が開催されました。

- 日時:平成 22 年 2 月 5 日(金) 18:00~19:00
- 場所:東広島市安芸津町 あきつ世代間交流センター
- 出席者:協議会委員等 15 名 協議会事務局 9 名
- 内容:道路構造の見直し方針について

『第 2 回 安芸津みちづくり協議会』が開催されました。

- 日時:平成 22 年 6 月 9 日(水) 18:00~19:30
- 場所:東広島市安芸津町 安芸津公民館 1F 大集会所
- 出席者:協議会委員等 20 名 協議会事務局 11 名
- 内容:安芸津バイパスの計画変更について  
地元説明会の実施について

### ■安芸津バイパスのこれまでの経緯について

#### ■H21.3.13 安芸津バイパス 事業再評価の審議

審議の結果、費用対効果(B/C)の値が 1.0 を下回ったため、「事業内容の見直しを行い再度審議」とされた。

#### ■H21.3.29 安芸津バイパス 部分開通

(主)安芸津下三永線から(市)上条浜田線間 1.5km を、平成 21 年 3 月 29 日に部分開通(2 車線)。

#### ■H21.3.31 安芸津バイパス 事業の執行を見合わせる

B/C の値が 1.0 以下の事業については、平成 21 年度の事業執行を当面見合わせることにし、再評価を実施して事業継続の可否を決定することとなった。

## ■H21.6.24 安芸津バイパス 事業再評価の審議

従来の便益以外に、「地域から期待される道路の役割」を考慮。

総人口減少の影響を踏まえた新たな交通量に基づく道路構造の見直し(4車線→2車線)や特殊工法の導入、トンネル断面の縮小及びによるコスト縮減。

以上の再評価を実施し、費用対効果(B/C)の値が1.0となった。

## ■H21.7.7 安芸津バイパス 事業を執行

事業評価監視委員会や関係地方公共団体等から事業継続との意見を頂いたことから、事業を執行することとなった。

# ■ 安芸津バイパス 道路構造の見直し方針について

## ■現状認識

○都市計画決定済み(H11.3)、一部区間供用済み(H21.3)

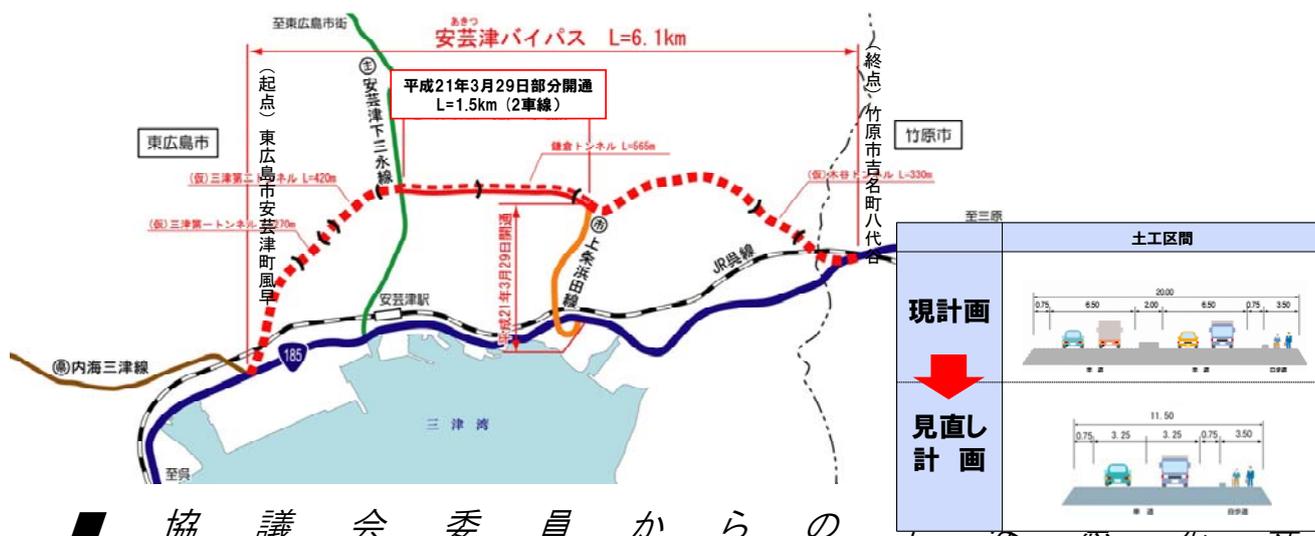
⇒沿道の利便性やコントロールポイント等を考慮した最良なルート

○計画交通量の減少(約13,500台/日→約7,700~8,900台/日)

⇒車線数を4車線→2車線に変更。

## ■協議会では

地域のさまざまな立場の方に意見等を伺いながら、コスト縮減や道路構造令等を踏まえた、安芸津バイパスにおける道路構造の見直し計画について検討します。



## ■ 協議会委員からの

- ・バイパスが開通すると、交通量が山地部の方へ転換されるため、山地部の環境悪化が懸念される。  
⇒バイパスが全線開通後には騒音観測し、環境基準を超過していれば環境対策を実施します。
- ・4車線から2車線への変更についてあまり抵抗は無いが、既存の道路と新しくできるバイパスとの接続が従来どおり(都市計画決定時の計画)である事が望ましい。  
⇒現在の都市計画での接続箇所は、道路構造の見直しでも反映させます。
- ・都市計画決定幅は補完されますか。  
⇒現在の都市計画決定幅の中で、地域の方々から意見を伺いながら2車線のルートを検討します。
- ・トンネル計画について、地盤沈下等が起こらないか心配である。  
⇒設計の際には、現地での地質調査などをして周辺に影響を与えないように配慮します。
- ・中世の城跡(重信城)があるが、ここは削ることになるのでしょうか。  
⇒重信城跡地と都市計画区域を確認したところ、区域に入らないことが確認できました。  
したがって、跡地を削るようなことはありません。

一般国道185号 安芸津バイパス「安芸津みちづくり協議会」についてのお問い合わせは

事務局：東広島市 都市計画課(開催事務局)

TEL:082-420-0954 FAX:082-421-3233

国土交通省 広島国道事務所(議案提案事務局)